

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立聴覚障害者情報センター	所管課	障害福祉課
所在地	甲府市北新1-2-12	設置年月日 (改築年月日等)	平成9年4月1日
管理方式	指定管理者((福)山梨県社会福祉事業団、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立聴覚障害者情報センター設置及び管理条例		
設置目的	聴覚障害者の情報不足を補うとともに、コミュニケーションの場を確保して福祉向上を図る。		
主な施設内容 (定員等)	・事務室、会議室、試写室、試写コーナー、相談室、スタジオ制作室、印刷室、パソコン室		
主な業務内容	○利用の承認に関する業務 ○施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○聴覚障害者用の録画物の制作及び貸出しに関する業務 ○聴覚障害者に関する相談業務 ○手話通訳及び要約筆記を行う者の養成に係る講座の実施並びにその者の派遣に関する業務 ○その他、知事が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・利用状況等	なし
---------------	----

3. 利用状況

単位: 人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	手話通訳者派遣	2,115	1,675	1,805	
	要約筆記奉仕員派遣	265	234	307	
	ビデオ(DVD)貸出し	96	106	96	
	相談	137	118	127	
	中継	60	60	60	
	会議室利用	9,087	10,652	12,984	
	見学者等	225	353	265	
	利用者数合計	11,985	13,198	15,644	
	目標値	—	—	—	—
	目標値設定の考え方	—	—	—	—
対21年度比	100.0%	110.1%	130.5%		
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	33,511,000	33,681,000	33,681,000	33,858,000
	その他	4,654,652	4,638,000	5,330,000	4,976,000
	収入合計(A)	38,165,652	38,319,000	39,011,000	38,834,000
支出	人件費	20,149,980	20,792,000	21,496,000	22,083,000
	県への納付金	0	0	0	
	管理運営費	13,963,039	17,527,000	15,655,000	16,751,000
	(うち外部委託費)(B)	1,087,288	1,080,000	1,087,000	1,098,000
	支出合計(C)	34,113,019	38,319,000	37,151,000	38,834,000
収支差額(A-C)		4,052,633	0	1,860,000	0
外部委託比率(B÷C)		3.2%	2.8%	2.9%	2.8%
利用者一人当りの経費		2,796	2,552	2,153	

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。

※利用者1人当りの経費の算定式は、指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年10月1日~30日、実施方法:聴覚障害者情報センター利用者へのアンケート、回答数:91人
-------	--

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①職員対応	76.9%	20.9%	2.2%	0.0%
②手話通訳派遣事業	63.9%	27.8%	8.3%	0.0%
③要約筆記派遣事業	64.7%	35.3%	0.0%	0.0%
④ビデオライブラリー事業	58.3%	33.3%	8.3%	0.0%
⑤相談事業	81.0%	19.0%	0.0%	0.0%
⑥ろうあ者成人学級事業	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
⑦その他(就労支援事業)	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%
各項目の平均	69.7%	26.4%	3.9%	0.0%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いつも丁寧な対応をしてくれる。</li> <li>○手話通訳者の技術を磨いて欲しい(手話通訳者派遣事業)。</li> <li>○わかりやすく伝えてくれています(要約筆記奉仕員派遣事業)。</li> <li>○DVD化を進めて欲しい(ビデオライブラリー)。</li> <li>○情報にもなるので学ぶことの大切さを感じる(ろうあ者成人学級事業)。</li> <li>○ろう者の心理を掴み、頼みやすい環境を(就労支援事業)</li> </ul>
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○質を高める研修を企画します。(手話通訳者派遣事業)。</li> <li>○最新のものはDVDとなっております(ビデオライブラリー)。</li> <li>○相談しやすい環境づくりに勤めます(就労支援事業)。</li> </ul>

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	事業計画に基づき、日常的な清掃及び整理整頓を行うとともに、ビデオ製作機器等の備品については、安全な保管、整備点検を行った。	事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。
運営業務	計画通り事業を実施するとともに、県聴覚障害者協会等関係団体と連携を図る中でニーズの掘り起こしを行い、聴覚障害者福祉の向上に努めた。	適正に業務執行されている。 引き続き利用者のニーズ把握に努め、聴覚障害者の福祉の向上に努めること。
自主事業		
利用状況	アンケート調査の結果は、良い評価であり、引き続き適正な運営を行っていく。	概ね計画どおり適正な管理運営がされている。
収支状況	事業の実施については適正に行われ、利用者数も増加した。	適正な管理運営がされている。引き続き、良好な財務状況を維持するよう努めること。
利用者満足度	満足度調査では、満足との結果が出たが、今後も利用者及び関係団体の声を聞き、サービスの向上に努めていく。	アンケート調査で、利用者の満足度が高いことが伺える。引き続き県内唯一の情報提供施設としてニーズの掘り起こしを行い、特に情報保障、就労支援、災害対策等、その時々々のニーズや国の方針に合致した取り組みを積極的に行うことが必要

運営目標の達成状況	手話通訳者等の派遣件数、相談件数、会議室利用者数の実績は前年度を上回ったが、新やまなし障害者プランに定めた手話通訳者等の養成が前年度とほぼ同数であり、総合的な運営目標については、概ね達成している。
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	○現地確認を行ったところ、概ね業務は適正に実施されている。 ○手話通訳者等の養成については、より一層講座内容を工夫する中で、「新やまなし障害者プラン」の数値目標の達成に向け取り組むこと。 ○利用者満足度調査の結果や、これまでの運営業務の分析を基に、引き続き聴覚障害者の福祉向上に向け施設の適正な管理運営に取り組むこと。
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	○手話通訳者等の養成については、「新やまなし障害者プラン」の数値目標の達成に向け、上級者を対象に特別コースを実施している。 ○県内聴覚障害者関係団体と連携しセンター運営に当たっていく。

7. 管理体制(組織図)

